

建築概要

工事名称	与那原町観光交流施設新築工事		
工事場所	与那原町字与那原3179番地（他24筆・上の森公園内）		
住居表示			
用途地域	第1種住居専用地域 200/60・第1種中高層住居専用地域 200/60 商業地域 400/80		
防火地域			
前面道路	与那原横井線（60）幅員：8.50m、上の森公園線（58）幅員：4.50m 地下1号線（45-1）幅員：7.00m 西側接道長さ：164.70m		
建物用途	集会場		
工事種別	増築		
構造・階数	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上4階・地下1階		
敷地面積	内 第1種住居専用地域 7,505.14㎡ 第1種中高層住居専用地域 7,512.99㎡ 商業地域 1,238.87㎡		
建ぺい率	11.99%		
容積率	17.61%		
建築面積	1,948.53㎡ 内 集会場部分 1,911.97㎡ 既設建物 36.56㎡		
延べ床面積	2,932.97㎡ 内 集会場部分 2,905.37㎡ 既設建物 28.60㎡		
延べ床面積（緩和後）	2,863.18㎡ 内 集会場部分 2,834.58㎡ 既設建物 28.60㎡		
最高の高さ	20.154m（平均地盤面より）		
最高の軒高	16.990m（平均地盤面より）		

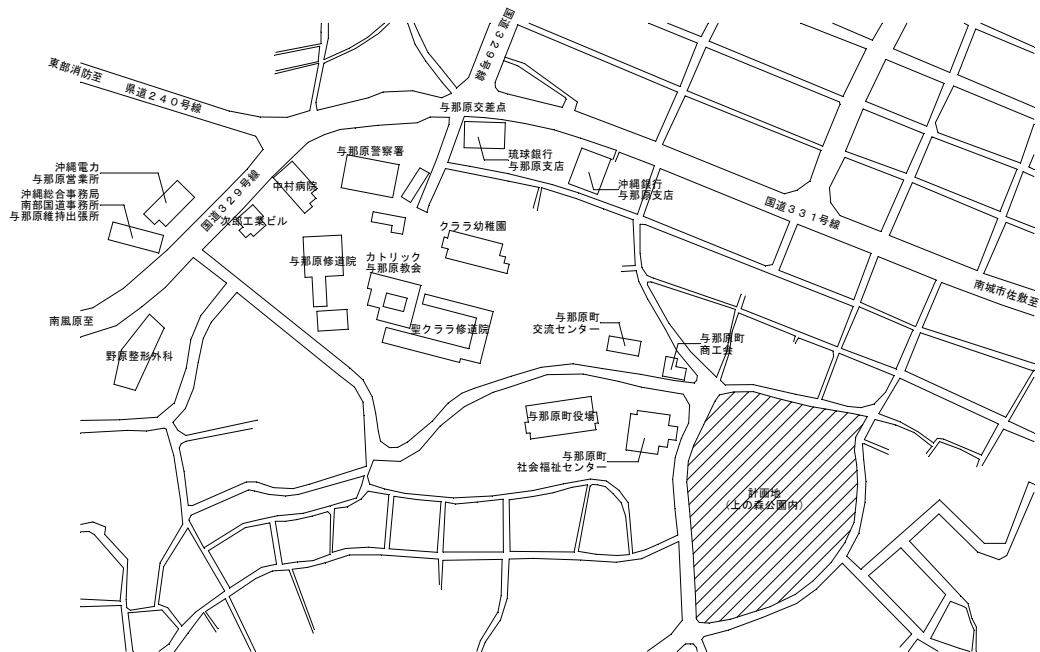
延べ床面積集計表

	延べ床面積	延べ床面積（緩和）	備考
4階床面積	115.82㎡	115.82㎡	
3階床面積	30.58㎡	30.58㎡	
2階床面積	732.82㎡	732.82㎡	
1階床面積	1,819.91㎡	1,819.91㎡	
地下1階床面積	206.24㎡	135.45㎡	自家発電用遮断器置庫関連 24.96㎡ （1/100） （1/50）
	2,905.37㎡	2,834.58㎡	

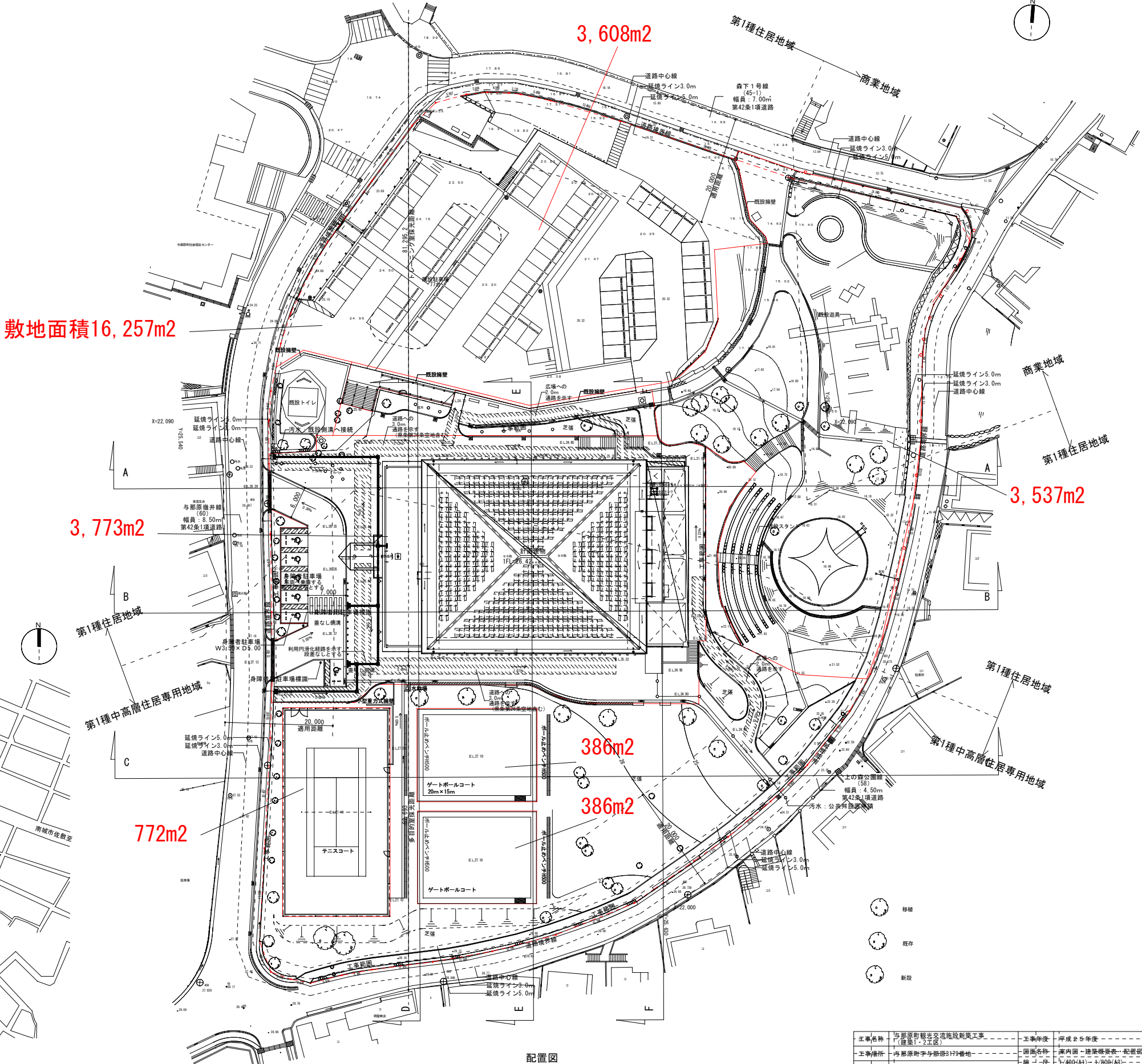
各階共通特記事項

- ・延焼のおそれのある部分の開口部は、防火設備戸使用（109条1項）
- ・延焼のおそれのある部分の換気孔で100CMを越えるものには防火ダンパー、100CM以下は防火用遮断器を使用する
- ・以下のものには、防火おおいを設ける
- ・配管等が防火区画を貫通する場合は、当該管と防火区画とのすき間を不燃材料で埋め（第61条第1項）
- ・風道等が防火区画を貫通する場合は、その部分又はこれに近接する部分に防火ダンパーを設ける（第18項）
- ・防火区画を貫通する配管等は、その貫通部分から両側1M以内の部分には不燃材料と（第61条第2項の2、第70条）
- ・又、排水用二層管は第129条の2の5第1項第7号に基づき大臣認定を受けた製品を使用し、その製品の認定条件の範囲内で施工を行うこと
- ・給水タンク及び貯水タンクは、警告15分7号に基づく基準に適合させる
- ・レジンボードから10cm未満は、全て熱伝導のない不燃材とし、吊り棚については、面土交通大臣の不燃仕様（熱伝導率）の認定を受けた製品を使用すること
- ・完成検査時にそれを証明する書類（認定書・カタログ等）を提出します。ただし、認定品以外を使用する場合は、接合する部分は9mm以上の不燃材（石膏板）を設け、吊り棚の下側に、ついても3mm以上の不燃材とし、レジンボードの取付部分（上部の取付部分）も6mmの不燃材として施工図（詳細図）を添付します
- ・レジンボードの建築タクトはステンレス鋼板を亜鉛めっき板とし、可燃物から10cm以上の離隔距離をとることが出発点となる場合は、換気口（厚さ50mm以上）で換気する。また、ガラスはアルミ樹脂複合板とする
- ・建築材料、副資材はすべて防火安全を使用する
- ・建築材料の品質は各部分、第37条に適合させること
- ・住戸内開き戸は、1cm以上のアンダーカットを設ける

案内図



配置図



工事名称	与那原町観光交流施設新築工事	工事年度	平成25年度
工事場所	与那原町字与那原3179番地（他24筆・上の森公園内）	図面名称	案内図・建築概要表・配置図
発注機関	与那原町	縮尺	1/400(A1)～1/800(A2)
構一書	0014.02-14	図面番号	1A-010（図A-007）
検印	管理建築士 設計 監理 図	名一姓	株式会社 泉設計
		責任者氏名	一級建築士 富岡 一
		登録番号	（登録番号）1300-0010
		所一在一地	沖縄県那覇市美里3丁目2番14号

※道路斜線は、適用距離20.0m以上であるため、無しとする
また、延焼ラインも範囲外とする